

形成外科

診療科のご紹介

形成外科は主に身体表面を治療する診療科です。先天的または後天的に生じた身体表面の問題に対し、根治性や機能だけでなく整容面にも配慮した治療を行っています。当院は日本形成外科学会認定施設として、外傷、皮膚腫瘍、皮膚潰瘍を中心に幅広い疾患に対応しています。

治療方法は、手術だけでなくレーザー治療や各種保存的治療などの低侵襲治療も行っており、患者さんとよく相談した上で個々の最善の結果を目指して選択しています。

診療科で対象とする症状・疾患

- ・ 外傷・熱傷（やけど）：皮膚軟部の新鮮外傷・熱傷、顔面骨折、切断指など
- ・ 皮膚軟部腫瘍：良性皮膚・皮下腫瘍、母斑、血管腫、皮膚悪性腫瘍など
- ・ 瘢痕：ケロイド、肥厚性瘢痕、瘢痕拘縮など
- ・ 再建外科：乳房再建などの悪性腫瘍切除後の再建、顔面神経麻痺の再建など
- ・ 皮膚潰瘍：虚血や糖尿病性の潰瘍・壊疽、静脈うっ滞性潰瘍、褥瘡など
- ・ 先天異常：耳介変形、臍ヘルニア、多指症、合指症など
- ・ その他：下肢静脈瘤、眼瞼下垂、腋臭症、陥入爪、巻き爪、蜂窩織炎など **〔漏斗胸の治療は、現在行っていません。〕**